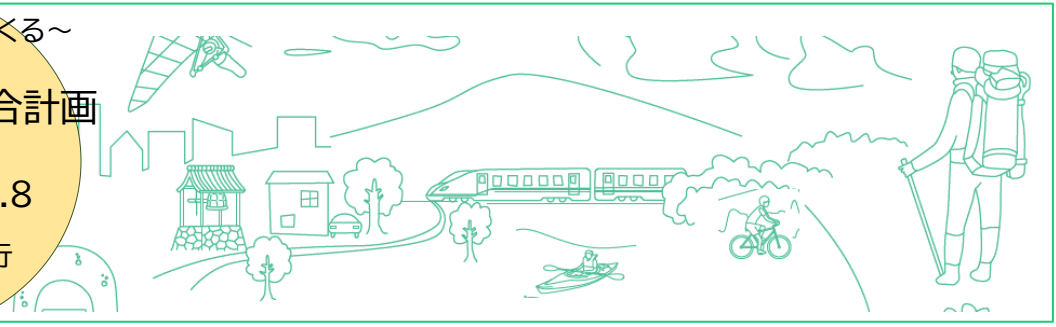


～これからの飯山をつくる～

飯山市第6次総合計画

かわら版 vol.8

令和5年1月 発行
事業戦略室



飯山市基本構想審議会から市長へ基本構想(素案)を答申

令和4年12月28日に市役所において、将来のまちの姿や施策の方向性を示す基本構想(素案)について、飯山市基本構想審議会の坪根弘記会長から江沢市長へ答申しました。

これは、同年9月に市長から同審議会へ諮問したもので、これまで3回の審議会での意見を踏まえ、基本構想に反映しました。

市長は、「基本構想は市にとって極めて重要なもの。この結果を受けて成案とさせていただくとともに、基本構想を実現するための前期基本計画の検討を進めたい」とあいさつしました。



左から同審議会松永晋一副会長、坪根会長、江沢市長

基本構想(素案)の主な修正

- ・「里山」が若者世代の移住者にとって惹きつけられる魅力となっている根拠を示すこと
- ・新たな時代に向け、「変化を求められている」ことを示すこと
- ・人口減少・少子高齢化の現状を踏まえ、集落維持の検討を「早急に」行うこと
- ・その他、基本構想を実現するための施策に関する意見等多数

基本構想(素案)に関するパブリックコメント募集の結果

基本構想(素案)に関するパブリックコメントを令和4年10月31日から11月30日まで募集しました。結果、5名から27件のご意見をいただき、その内の5件は基本構想へ反映すべきものとして、市の対応案を基本構想審議会に諮り、修正しました。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【裏面もあります】

前期基本計画(素案)を市長から基本構想審議会へ諮問

令和5年1月20日に市役所で開催した第4回基本構想審議会において、市長から前期基本計画(素案)を同審議会へ諮問しました。前期基本計画は、基本構想を実現するための施策を示した計画で、計画期間は令和5～9年度までの5年間です。今回から2回にわたり、審議をいただきます。



江沢市長(右)から諮問を受ける同審議会坪根弘記会長

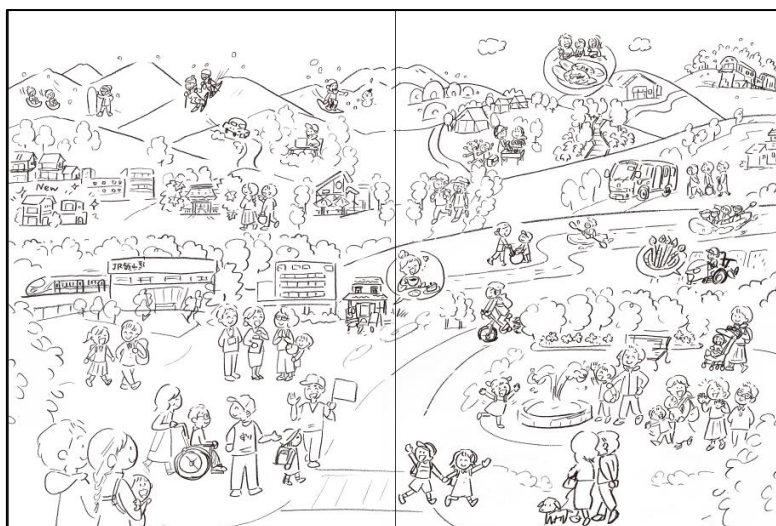


審議の様子(第4回 1/20)

「将来のまちの姿」のイメージづくり!

現在、市民アイデア会議が主体となり、将来のまちの姿「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」のイメージづくりに取り組んでいます。

「10年後はこうになってほしい!」という想いをイラストに反映していきます。



最初のたたき台。これをベースに検討していきます

<イメージづくりの様子>



会議の様子(第5回11/10)



会議の様子(第6回 12/14)